

平面図



講評 REVIEW

「夫婦で暮らす為の機能的でゆったりとした平屋と建物と庭が欲しい」との施主の希望を受け、ゆたかなセカンドライフに向けた伸びやかな住まいを実現させた設計者、施工者は、かつて施主宅をよく訪れ、遊びに来ていた息子さん娘さんの同級生達でした。

緩やかに南に下がる角地の形状に沿ってL字に折り曲げられた建物は北から吹き付ける赤城おろしを防ぎながらプライバシーを適度に保った庭を囲い取っています。低く深い軒を出すことで自然との共生を計り、垂木構造の屋内空間は一体感とともに部屋の領域が上手く区切られ使いやすく落ち着いた空間となっています。リビングと庭を繋ぐL字部分に設けられた広いデッキテラスは南下がりの芝庭に浮かぶ浮遊感を味わえる快適な外部空間となっています。敷地周辺に対してはオープンなつくりで、駐車場の低い石塀や通りに面した窓に飾られた建主のお気に入りの小物が道行く人達の目を楽しませ、自然と交流が生まれるようなこしらえとなっています。家づくりにかける施主、設計者、施工者の想いと建物と庭、周囲、全ての三位が一体となった素晴らしい『ぐんまの家』となっています。